

警察官や自衛官など危険性の高い業務に従事した元公務員を対象とする「第42回危険業務従事者叙勲」が4月6日、発表されました。

田村市からは4人が受章しました。4人に喜びの一言をお聞きました。



瑞宝双光章
大沢 寛全さん
(72、船引町)
元千葉県警総務部理事官

「与えられた仕事を一生懸命やっただけ」と謙虚に語ります。高速隊班長や通信司令官などの要職に就き、警察業務に励んできました。退職後は古里に戻り、父の跡を継いで、満円寺の住職を務めています。「力の続く限り、地域の人々に恩返ししていきたい」と笑顔で話しました。



瑞宝双光章
川田 稔さん
(61、常葉町)
元空自松島基地第4航空団
総務班長

「職人として活躍する諸先輩方を見て努力してきた」と胸を張ります。警戒管制レーダー整備員などを務め、国防の最前線で国土と国民を守ってきました。次男章宏さんは箱根駅伝に出場。「息子の活躍は誇りであり、支え」と笑みを浮かべました。



瑞宝双光章
山田 弘美さん
(61、都路町)
元自衛隊福島地方協力
本部予備自衛官班長

「丈夫な体に育ててくれた両親、支えてくれた妻に感謝したい」と感謝します。大砲射撃の運用部隊で訓練に励んできました。部隊指導のほか、教育計画の作成にも携わってきました。「東北復興のために、人材育成に力を注いできた」と振り返ります。



瑞宝双光章
渡辺 清光さん
(68、常葉町)
元陸自福島駐屯地業務隊
1科長

「上級部隊や海外で活躍している方がいる中、受章は驚いている」と、話します。「克己前進」を統率方針に掲げ、各部隊で4度中隊長を経験しました。射撃中隊競技会で2年連続優勝したことが思い出で、「勝利の追求が戦術だった」と振り返ります。

危険業務従事者
叙勲
努力と功績に光



地域の安全安心を守る
田村市消防団



4月1日より田村市消防団長を拝命いたしました鈴木木好電と申します。平素より市民の皆さまにご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

これまで、田村市消防団では持続可能な組織を目指し、市消防操法大会を廃止するなど消防団改革を進めてまいりましたが、今後消防団行事の見直しを進め団員の負担軽減をより一層図ってまいります。一方で有事に備えた日頃からの機械器具点検や試運転などは徹底し、メリハリのある活動を行っていく考えです。

また、昨年度策定した田村市独自の操法要領により団員の消火技術の向上を図るとともに、消防署と消防団の連携をさらに深め、火災現場での迅速かつ的確な消火活動に努めてまいります。

今後、昼夜問わず発生する火災や自然災害に備え、地域を守るという使命感のもと、全団員が一丸となって対応してまいりますので、市民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あなたの情熱で田村の観光をもっと楽しく!

第10期

田村市観光キャンペーンクルー募集

田村市の観光や物産情報など宣伝し、市内外に田村市の魅力を発信する第10期田村市観光キャンペーンクルーを募集しています。第9期クルーの菅野千恵子さん、平紘大さんに、活動の魅力ややりがいなどを伺いました。

菅野 千恵子さん



新春賀詞交歓会で
司会を務めた
菅野さん



あぶくま洞
開洞50周年セレモニーで
司会を担当した菅野さん(右)

Q クルーの業務で、大切にしていたことはありますか。

イベントでは、お客さまが来て良かったなと思っていただけ「うまくやろう」とはせずに、「自分が誰よりも楽しくお仕事をすること」を意識していました。楽しんでいる人の周りに、人は集まると思っています。

Q 第9期クルーとして、第10期クルーをどのように支えていきたいですか。

人前に出てお話しすることって緊張もすると思いますが、自分の殻を破る大きなチャンスでしかありません。そこに楽しさを見いだせれば色々な可能性が広がりますので、そういったマインド面の後押しができればと思っています。

【主な年間スケジュール】

- 4月中旬 さくらウオーク
- 7月上旬 クワガタサミット
- 9月中旬 ハイウェイフェスタとうほく
- 9月下旬 あぶくま洞秋まつり
- 1月上旬 新春賀詞交歓会

【応募資格が広がりました】

年齢は満18歳以上から年齢制限はなく、田村市出身に限らずゆかりがある方であれば応募可能です。熱意をもって田村市の魅力をPRいただける方のご応募をお待ちしております。

ご応募はこちら▶



平 紘大さん



たむら市政だより
1月号のさいも特集に
参加した平さん(中央)



おひさまドームの
オープニング
セレモニーで
司会を務めた平さん

Q クルーの活動の魅力ややりがいを教えてください。

コロナ対策が緩和されてからは、市内をはじめ県内外と活動の場も広げながら田村市の魅力発信をしてきました。特に、司会進行業務や、産業団地のPR動画撮影など様々な形で田村市に関わったことで、クルーの認知度を上げられたことが嬉しく思います。

Q クルーの活動は、自身の活動にどのような影響や効果をもたらしましたか。

クルーの活動を通して、大勢の前で話すことに自信が持てたと感じます。また男性クルーという存在がまだまだ珍しいので、今年1月の市政だよりで表紙を飾らせてもらったからは、多くの方に表紙の人！と覚えてもらい声をかけられるようになりました。